

## 高品質果実を安定生産できる「紅いわて」の着果基準

### 【1 成果の概要】

- (1) 摘果を中程度（1果/5頂芽）とすることで、36玉が中心規格となります（表1）。
- (2) 摘果を中程度（1果/5頂芽）とすることで、8年生以降の収量が2.5t/10a以上得られます（表2）。
- (3) 摘果を中～強程度（1果/5～7頂芽）とすると、安定して花芽を確保できます（表3）。

表1 1果重別果実割合

年次	摘果程度	果実割合(%)			合計
		300g未満	300g以上 350g未満	350g以上	
H29	弱	43	38	20	100
	中	18	50	32	100
	強	14	43	43	100
H28	弱	56	27	17	100
	中	32	44	24	100
	強	15	35	50	100

※) 摘果程度

弱：1果/4頂芽、中：1果/5頂芽、強：1果/7頂芽

※) 大きさの目安

300g未満：40玉以下、300g以上350g未満：36玉、350g以上：32玉以上



図 紅いわての果実

表2 摘果程度別収量

樹齢	摘果程度	1果/頂芽数	収量(kg)/樹	収量(kg)/10a <sup>※1</sup>
9	弱	4.0	48.9	4,062
	中	5.6	34.7	<b>2,880</b>
	強	7.1	25.0	2,075
8	弱	3.8	35.2	2,918
	中	5.1	32.2	<b>2,672</b>
	強	6.2	29.5	2,444
7	弱	3.7	23.7	1,967
	中	5.2	20.1	1,669
	強	5.9	20.2	1,678
6	弱	4.3	22.5	1,868
	中	5.7	18.4	1,524
	強	7.1	16.1	1,339
5	弱	4.3	15.0	1,248
	中	5.7	12.5	1,041
	強	7.1	9.4	783

※) 収量は規格外、落果を含む換算値

※1) 植栽間隔：4m×3m、10a当たり83本で計算

表3 花芽率の推移

前年の摘果程度	花芽率(%)			
	H26	H27	H28	H29
弱	86	86	78	94
中	83	85	88	92
強	89	89	89	97

※) 同一樹を経年調査

### 【2 留意事項】

- (1) 本試験において、荒摘果は落花15日後、仕上げ摘果は落花35日後を目安に行っています。
- (2) 荒摘果が遅れると翌年の花芽に影響が出る可能性があるため、遅れずに実施します。
- (3) 本成果は、成木における着果基準です。若木では果実が大きくなる傾向が見られるので摘果時期等で調整する必要があります。
- (4) 収穫は、平成25年度及び28年度研究成果を参考に行います。

担当研究室 技術部 果樹研究室

〒024-0003 岩手県北上市成田20-1 TEL. 0197-68-4419 FAX. 0197-71-1083